

うちゅうせん通信

広報係 2015年7月25日発行 第1号

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

☆2015年今後の例会予定☆ 毎回土曜日、14時開始

8月22日・9月26日
10月17日・11月28日
12月12日※・1月23日
2月20日・3月12日※

場所は仙台市天文台
(2階・学習室)
※忘年会・全体会のため
会場別途

発行形態の変更について

昨年度の全体会で会報の様式と
名称変更の了承を受けましたの
で今号より変更します。
(広報係までご意見をお願いします)

2015年度 観望会記録

◎:晴れ △:僅かに観望 ×:曇り ●:雨

実施日	月齢	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空観望	PC投影	スタッフ数	天候	主な内容	
4.18(土)	-	例会	-	14:00	16:00	-	-	9名	-	ボランティア保険証配布	
☆5.9(土)	21	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
☆5.10(日)	22	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
★5.16(土)	28	えぼしスキー場	2名	19:00	20:30	◎	○	2名	晴	えぼし・今年度初実施、会津若松市からの観光客	
☆5.17(日)	29	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
◆5.23(土)	-	例会	-	14:00	16:00	-	-	5名	-	えぼし用天体望遠鏡2台お披露目	
◆5.23(土)	5.3	仙台市天文台前	自主イベント	?	18:30	21:10	-	-	6名	-	
☆5.23(土)	//	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
☆5.24(日)	5.4	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
★5.26(火)	上弦	水の森キャンプ場	みどり十字軍	13名	18:30	20:00	◎	有り	3名	晴	水の森キャンプ場管理棟での毎年恒例の観望会
☆5.30(土)	12	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
☆5.31(日)	13	えぼしスキー場	中止	-	-	-	-	-	-		
★6.6(土)	19	えぼしスキー場	2名	19:00	20:30	◎	-	2名	快晴	強風で寒さの観望。春の大曲線、春の大三角・他	
★6.7(日)	20	えぼしスキー場	5名	19:00	20:30	◎	-	2名	晴	梅雨前最後のえぼし。金星、木星、土星・春の大曲線	
◆6.20(土)	-	例会	-	14:00	16:00	-	-	7名	曇り	7月の観望会担当者取りまとめ	
◆6.20(土)	-	仙台市天文台前	自主イベント	?	19:00	20:00	-	-	2名	曇り	

☆多 観望会のようす

★ えぼし・今年度初実施【報告 永井 2015年5月16日(土)】

先週申し込みがあったものの参加者が少ない事からお断りしたが、今週も引き続き申し込みが有り、2週続けてお断りするのが出来なかった様でした。

会津からの2名はお母さんと高1の息子さんでした。6時半頃の到着でまだ明るかったものの受付後すぐにゴンドラに乗って貰いました。

到着後、しばし室内で色々お話ししました。こちらもお津の出ですので、共通の話題には事欠きません。

夜景を見ている内に金・木星が見え出しましたので、持参したての屈折&反射の2台で見て貰いました。

金星は半月状に見え、木星は衛星や縞模様を見る事が出来、どちらも初体験だった様で喜んでもらう事が出来ました。

最初は曇が多かったものの、時を追うに従って晴れ間が広がり、星座もはっきりくっきりと確認出来ましたし、持参の双眼鏡で

こんなに多くの星が見られたのは初めて！と感動されていました。

今夜はどちらにお泊りですか？の問いには・・・これから帰ります・との事、会津から日帰り戴王までには感心してしまいます。

お気を付けてお帰り下さい。がお別れの挨拶でした。山の上の寒さは想像以上でした！

ジャンパーを着ては行ったものの、寒いなの・・・行かれる方は防寒の備えをお忘れなく！



★ 水の森キャンプ場管理棟【報告 永井 2015年5月26日(火)】

上弦の月に照準を合わせて決めた日程でしたが、平日のため子供連れの申し込みが少ない・・・

晴れて上弦の月・金・木星を堪能して頂くことが出来た

開始はまだまだ明るい18:30、18時頃には機材を設置・開始前にキャンプ場に犬を連れて来ていた方他数名の方が青空の中の半月を楽しみました。

挨拶の後①今見られる星空の説明②星の仙人(星座物語のナレーション)・・・暗くなるまでの間、色々な話をした後、外に出て3台の望遠鏡で金星・木星・上弦の月を堪能しました。

折りも金星が上弦の月と同じ形で、初めて見る方が多く感心されていました。

終了間際に東空に星が昇ってきたのを見つけた方から「なんの星ですか？」の質問が有り、土星かも！と望遠鏡を移動して確認したらまさに土星でした。

予定外の土星まで見られることになり皆さん大喜びでした。終了時刻の20:00をオーバーしましたが、月・惑星が見られ最高でした。

★ えぼし・2回目の実施【報告 渡辺 2015年6月6日(土)】

朝は雨、昼は曇りでしたが、夜は快晴で観望会日和となりました。

参加者(2名)は催行人数に達していませんが、6/7で梅雨期間の休みに入るため開催との事。

これも戴王の火山活動の影響でしょうか？

参加したのは近隣町のカップルで、星空散歩のチラシで知ったとのことでした。

山頂は風が強く、屈折望遠鏡で金星、木星、土星を見ていただきましたが、手を添えて画像の揺れを抑える

必要があるほどでした。

そのため徐々に暗くなる中、肉眼での星座探しを中心にしました。春の大曲線、春の大三角、そして北極星から

さそり座までマンツウマンで説明し、自分の星座のしし座を覚えられてよかったとの感想をいただきました。

山頂は強風で体温が奪われるためとても寒く感じ、時々室内に入って温まりながらの観望でした。



★ えぼし・3回目の実施【報告 大石 2015年6月7日(日)】

金星がよく見えていて、暫くすると木星、そして土星も見え始めました。参加者が到着し、まずは、3つの惑星を見てもらってから、室内に入りました。

椅子に座ってもらい、テーブルを囲んで、見える星の説明をしてから外で観望会を開始しました。3つの惑星、ミザールを望遠鏡で見てもらい、

春の大曲線で春の星座の説明や、北極星の見つけ方など、話をしながら楽しんでもらいました。石垣さんが、東の方のアルビレオを望遠鏡に入れて

観望してもらいました。

夏になると、天の川が綺麗に見えますよとか 秋はスバルが綺麗ですよ など宣伝しました。運がいいと流星も見れるよと言うと、早速シートを敷いて

見始めた方もいました。

星が好きの方々だったので、アットホームな感じで時間が過ぎていきました。

多少、薄曇りではっきりとは見えませんが、楽しんでいただけたと思います。

観望会のような(続き)

☆ 仙台市天文台前 【報告 永井 2015年6月20日(土)】

今年度2回目にして、初の単独開催となる予定でしたが…例会終了後、2時間ほど待っての開始となりました。

どの方向も雲・雲・雲…一縷ののぞみで両方の空が見渡せる場所に機材を設置したものの雲しか見えない為、東側の鉄塔を導入・うそは言えないので呼びかけは…「望遠鏡を覗いて見ませんか…？」小さいお子様連れのご家族が結構寄って来てくれました。

用意した踏み台に乗っても届かないお子様が多く？抱っこして見せる羽目に…

何が見えたかな？って聞いたら5歳男児の「東京タワー」3歳女児「お星様」などが返って来ました。見えるはずの無い「お星様」は天文台にお星様を見に行こうね！などと言われて来たから？かも知れません。1時間ほどの間でしたが、色々なふれ合いが有り楽しんで貰う事が出来ました。

☆天文の話題

富谷隕石について (今崎)

2014(平成26)年7月1日より11月3日迄、仙台市天文台で国立科学博物館所蔵・富谷隕石の展示が行われました。これは、富谷隕石が1984(昭和59)年8月22日に落下して30周年を迎えるのに合わせて企画されたものです。展示で富谷隕石と共に置かれていた資料や文献を参照して、富谷隕石の特徴、発見時の経緯について纏めてみました。

1984(昭和59)年6月30日には青森市松森で隕石落下がありました。富谷隕石はそれから間も無くの出来事であり。富谷隕石は計2個発見され、発見時の概況を以下に記します。

1号:富谷・浅野さん宅、ベランダの上に置いていた子供のバジヤマの上に落下。質量19.2g。大きさ3×2.8×1.7cm

2号:富谷・早坂さん宅、物置トタン屋根に落下(隣の家の物置の屋根に落下した後、弾いて早坂さん屋根に着地)。質量8.3g。大きさ2.3×2×1.5cm

8月22日の落下当時、浅野さんによると、異様な音に子供が目覚まし泣き出したそうです。一方、早坂さんによると、「物干し棹が落ちるような」物音を耳にした、発見した隕石からは、冷たい、生臭いような匂いがしたそうです。

翌23日、仙台市天文台へ隕石と思われる物体の落下が通知されました。

そこで、仙台市天文台は隕石の専門家である国立科学博物館・村山定男氏へ連絡しました。

村山氏は直ちに急行して現物の鑑定を行い、隕石と断定しました。隕石は、黒っぽく、一部灰色の部分が残っていました。

灰色が本来の色で、落下の際、空気との摩擦によって焼けた部分が黒色になったと考えられました。当日は、仙台天文同好会メンバーも駆けつけました。

発見された隕石の他にも隕石が落下しているのではないかと、富谷で隕石の大捜索が行われました。捜索には、仙台市天文台、仙台天文同好会、福島天文同好会、郡山天文同好会、阿武隈天文同好会のメンバーが参加しました。まず、仙台市天文台でミーティングが行われました。現地へ移動後、村山氏によるアドバイスが行われました。

午前中の捜索、昼の作戦会議、午後の捜索と、一日中かけて捜索を行いました。落下地点近くに不思議な枝折れの報告はあったものの、新たな隕石の発見には至りませんでした。

富谷隕石の発見については、河北新報に報道され、又、天文雑誌「月刊天文ガイド」、「星の手帖」でも取り上げられました。

村山氏他隕石の専門家による富谷隕石の分析も行われました。隕石の中で、富谷隕石はH4~5の普通球粒隕石に分類されています。

(隕石の分類は、本文末尾に簡潔に記しています。)隕石に含まれる球粒の直径は約0.3mm。宇宙空間にあった時は、普通の中程度の大きさだったが、大気圏突入後地上20km付近で爆発し、小さな破片となって落下したと考えられています。落下26時間後に分析が行われたので、「隕石はナマもの」と言われた程でした。

隕石は大きく分けると、石質球粒隕石(存在比85.7%)、石質無球粒隕石(7.1%)、鉄隕石(5.7%)、石鉄隕石(1.5%)に分類されます。石質球粒隕石は、鉄含有量によってH(鉄含有量が高い)、L(鉄含有量が低い)、LL(鉄含有量が一番低い)の記号が付され、更に岩石学的に数字が付されます。

(数字が大きくなるほど球粒の形が崩れる)

参考文献:仙台市天文台展示資料

「隕石の見かた・調べかたがわかる本」藤井旭

「隕石 宇宙からの贈りもの」島正子

<おことわり>本記事は、昨年度のうちゅうせん新聞に掲載予定でしたが、編集の都合により今回掲載する事としました。



編集後記

- ◆ 今年の春、火山活動の活発化により蔵王入山制限により、えぼしスキー場観望会に宿泊客が全く来ていない状況です。梅雨明け後の再開時は例年通りのにぎわいを期待したいものです。(辺)
- ◆ 椿です。職場の雰囲気とペースになじめないまま、夏休みに入ってしまった。「うちゅうせん」の方もご無沙汰してすみません。ちょっと気が早いですが、嫁さんと相談して、この年末も沖縄に行くことにしました。嫁さんは泡盛マラソンができる居酒屋、私はやはりカノーブスがめあてです。今度は東海岸に宿をとれば、少しは見やすいのかな~などと素人考えしております。いずれにせよ、天気次第ですね。普段の行いを善くしておきます。(椿)
- ◆ 7月に開館した仙台商みの杜水族館を早速見に行きました。巨大な水槽の中でイワシの大群が光の反射で鱗を輝かせながら泳ぐ姿に感銘しました。今後興味深いイベントが色々企画されるのを期待したいです。(今)